令和３年度　５月号　Ｎｏ．２

年長さんの食育スタート

今年度初めての食育がスタートしました。第１回目の食育は、食事のマナーや食べ方について話をしました。まずは、「いつもどんな風に食べていますか？」と聞くと、子どもたちは手を挙げてみんなの前でいつも食べている姿を披露してくれました。発表してくれた子どもたちは、上手に座って食べてくれたので、悪い見本を見せてどこが悪いか子どもたちに答えてもらいました。悪い姿勢を見せると子どもたちは、次々に答える事ができ何がいけないかをちゃんと分かっていました。

その他にも、きれいな姿勢（椅子の座り方）について、お手本を見せながら子どもたちも両手で拳を作りお腹と背中に拳をおいて、椅子の背もたれに背中や机にお腹がくっつかないように座る練習をました。

最後には、「年長さんがお手本となって、こあらさんやひよこさんにも教えてあげて下さい。」と約束をしておやつの時間を迎えました。おやつの時間になると早速年長さんが下の子たちに教える姿もあり、頼もしいばかりでした。下の写真は、給食の様子です。

「絵本から飛び出したおやつ」

～あらすじ～

そらまめくんにとって、ふわふわのベッドは宝物です。だからだれにも貸したくありません。ところが、そのベッドが突然なくなってしまったのです。必死にさがしますが、なかなか見つかりません。やっと見つけると、その上には、なんと･･･？という愉快なそらまめくんのお話です。

今年度も「絵本から飛び出したおやつ」がスタートしました。５月は、そら豆の時期でもあり、「そらまめくんのベッド」より“そら豆の包み揚げ”がおやつの時間に登場しました。そら豆その物の味を体験してもらいたかったのですが、子どもたちが食べてくれるか心配もあり、チーズとウインナーとそら豆を粗く刻み餃子の皮で包み、揚げ餃子感覚で作ってみました。チーズとウインナーは、子どもたちの大好きな味なので、みんな美味しそうに食べてくれました。

また各クラスでは、事前にそら豆に顔などを描いてあり子どもたちは、さやを開けて驚いている様子もありました。そして、さや付きのそら豆を実際に触ったり、さやの中の白い綿の部分を観察したりすることができました。その中でもにじ組では、寝ている顔のそら豆を見て、「寝んね、寝んね！」と言いながらそら豆のベッドに入れて寝かしつける姿もあり、ほのぼのする光景でした。